

つくばみらい市との包括連携協定の締結について

高砂熱学工業株式会社(本社:東京都新宿区、代表取締役社長 COO:小島和人、以下「当社」)は、脱炭素社会の実現や社会課題の解決に向け、幅広い分野において地域社会の持続可能な発展と「みらい都市」の実現に寄与することを目的に、8月5日、つくばみらい市(市長:小田川浩)と包括連携協定を締結したことをお知らせいたします。



締結式の様子

(写真中央左:小島社長、中央右:小田川市長)

つくばみらい市と当社は、地域社会の持続可能な発展に向けて、以下の分野で連携します。

(1)教育に関すること

高砂熱学イノベーションセンター(以下、「当センター」)において、主として“未来を担う子供たちに、空調設備等に関する最先端技術の見学・体験等を通じ、環境問題も身近に感じることのできる場を提供します。これにより、環境に関する新たな価値観の構築を手助けし、持続可能な社会の創造に貢献します。

(2)防災に関すること

災害発生時や緊急時には、当センターの保有する各施設や独自のエネルギー供給設備等(太陽光発電システム、蓄電システム、バイオマス発電システム等)を有効活用し、市や地域と連携して対応に取り組むことで、近隣地域の皆様や市民の安全な暮らしの維持に貢献します。

(3) コミュニティに関すること

当センターの一部施設(カフェレストランや和室・会議室をはじめとするオープンスペース等)を地域住民の皆様に開放することで、地域コミュニティの形成と活性化に貢献します。

(4) エネルギーに関すること

「環境クリエイター」として、当社がこれまで培ってきた技術と経験を活かし、公共施設をはじめとする地域建物の省エネルギー化に寄与するなど、低炭素社会の実現に貢献します。

以上

【高砂熱学イノベーションセンターについて】

2020年2月つくばみらい市富士見ヶ丘に竣工。「地球環境負荷軽減と役割・新機能による知的生産性向上を両立したサステナブル建築」と位置づけ、再生可能エネルギーや地下水の熱利用、自然採光などのエネルギーを用いることでZEB*を実現します。

また、産・学・官連携を推進し、持続可能な社会の実現に向けた研究開発・事業開発と健康経営に寄与する業務の革新を行い、新たな価値創造に取り組んでいます。

※ZEB(ネット・ゼロ・エネルギー・ビルディング)

ZEB(Net Zero Energy Building)とは、快適な室内環境を実現しながら、建物で消費する年間の一次エネルギーの収支をゼロにすることを目指した建物のこと。

【高砂熱学工業株式会社について】

1923年創業以来、空調設備工事の設計・施工を中心に技術力・開発力を磨き続けながら、ビル、工場、施設など、あらゆる用途の建物に対してソリューションを提供する、環境ソリューション企業。「人の和と創意で社会に貢献」を社是とし、人にやさしい快適空間の創出と、高品質プロダクツ製造における環境の構築、省エネルギーを考慮したマネジメント支援を通じて、脱炭素社会実現への貢献を目指す。日本全域・中国・東南アジア・インド・メキシコに展開。

お問合せ先

広報部 平木・笠原まで TEL 03(6369)8215 (直通)

平木 携帯: 070-2176-7713 E-mail: terumasa_hiraki@tte-net.com

笠原 携帯: 070-2267-5580 E-mail: mio_kasahara@tte-net.com